

反射材おてすい!!!



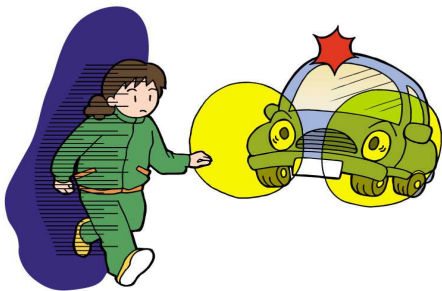
暗いところでも、反射材をつけていると、光が反射して、とてもよく目立っているね!!



意外に見えていない!!

夕暮れ時や夜間は、ドライバーが歩行者に気づかない（闇に紛れて見えていない）ことがあります。「見えているだろう!」ではなく、「相手から見えていないかもしれない」という意識を持ちましょう。

また、夕方から出かけるときは、**明るい色の服を着て、反射材をつけましょう。**自動車の下向きライトは、夜間に前方40mの距離にある障害物が確認できればよいとされています。時速60kmで走る車は、わずか2、4秒で目の前に来ます。だからこそ、**自分の姿を目立たせ、いち早くドライバーに知らせることが大切です。**そのためにも、**反射材を活用しましょう!!**



暗いときに、黒っぽい色の服をきていると、相手からは見えにくいものです。**黄色や白などの明るい色の服を身につけましょう。**

夕方以降でかけるときは、反射材をつけましょう。1カ所だけでなく**何カ所も付けたり、懐中電灯を持ったり**しましょう。

自転車の場合、前と後ろだけでなく、**スポーク（車輪）に反射材をつけることで、どの角度からも自転車を確認することができます。**

歩行者は、一カ所だけでなく**数カ所に反射材をつけると有効です。特に、靴のかかたにつけるとよく目立ちます。**